

# 同志社大学

## 2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年3月23日提出

所属	職名	氏名
法学部	教授	瀬領真悟
研究題目	多角的貿易システム・地域統合システムにおける競争政策・法及び通商政策・法の連動関係	
研究成果の概要	<p>① 本年度は主に以下の研究を行った。 第1は、EC競争法を例にとって、地域統合システムと競争政策・競争法のあるべき関係について。 第2に、WTO体制の中で紛争解決事例を検討して、その中で、競争政策的課題がどのように法的に処理されているのか。</p> <p>② 研究会での報告及び参加 本年度は日程が合わなかったこともあり研究会報告あまりできなかった。報告を行ったものは次の一つだけである。経済産業省 WTO パネル報告研究会「DS312 韓国－インドネシア製紙に対するAD税賦課21.5条パネル」(2008年2月12日)(主に上記の①の第2の関連研究)。研究に関連するテーマを持つ内容の研究会に参加した。毎月定期的に開催される関西経済法研究会、比較法センター米欧独禁法研究会。年一回の、日本国際経済法学会、日本経済法学会。不定期の東アジア経済法研究会。</p> <p>③ 上の研究活動の成果として次のものが刊行物となった。 「韓国－インドネシア製紙へのAD税賦課21.5条パネル」パネル報告(経済産業省及び経済産業研究所「ガット・WTOの紛争処理に関する調査 調査報告書 XVIII(平成20年3月)」203頁から223頁所収)</p>	